



国立大学法人

# 琉球大学 琉球大学StudentBranch

令和3年度会長：玉城 奏，副会長：宮良 諒，会計：仲泊 明徒

会員：5名 顧問：1名

## 設立趣旨

電気電子工学は、現代社会を支える重要な分野であり、これらを支える技術者・研究者の教育として大学は重要な機関である。この時期に社会で活躍する先輩方や研究者の意見を聞く場を設け、学生の工学技術者としての意識を向上させる。

## 講演会



一昨年に開催した講演会では、電力中央研究所より大嶺英太郎さん、宜保直樹さんを招き、「電力中央研究所における研究内容のご紹介、および「学生時代にしておくこと」について」という題目の講演をしていただきました。参加者にとってとても良い刺激となりました。昨年度は新型コロナウイルスの影響により、講演会の開催が難しい状況にあったため、収束し次第、開催を企画していく予定です。

## これまでの活動

- (第73回) 電気・情報関係学会九州支部連合大会にて発表
- 研究活動を周知するための動画作成(日本語版)
- 令和2年度 電気学会九州支部沖縄支所講演会にて運営支援および論文発表

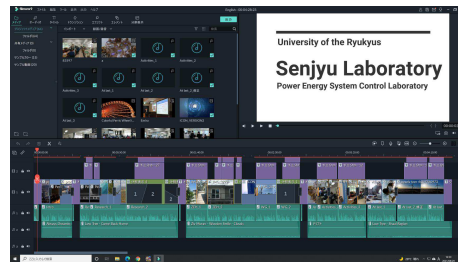
## 学生ブランチのメリット

- 自主的な事業の運営で、学生本人の自己研鑽の場となる。
- 就職情報等先輩を通じて会社情報を得ることができる。
- 先輩等を通じて、著名な先生方と交流ができる。(講演会等)
- 先輩等を通じて、先端企業、就職関係企業との交流ができる。
- 学生ブランチに貢献があった学生員へ証明書等の配布。
- 教育的・技術的・専門的な情報を入手できる。

## 学生ブランチ(Student Branch)内での事業

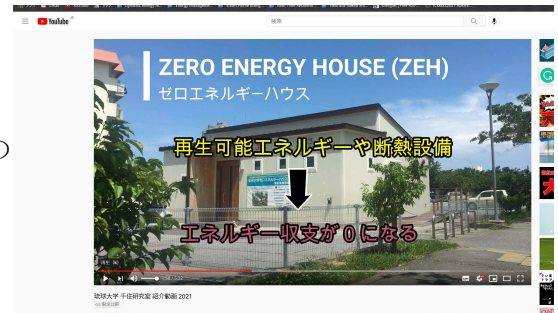
- 電子情報通信学会(IEICE)学生員の増強をはかる。
- 興味ある分野の多彩な事業を実施する。
- 懇親会・OBとの交流会を実施する。
- 本会のサービスを会員に知らせる。

## SB活動内容



動画作成の様子

YouTubeでの  
動画公開



<https://www.youtube.com/watch?v=6smKu7gj2uY>

昨年度は、学生ブランチの活動として学会への参加および支援等を行いました。また、学外での活動が困難であり、新たな取り組みとして学生ブランチでの活動の周知するため動画作成を行いました。学会発表ではSBメンバー全員が参加しました。また、学会の運営支援では初めてのオンライン開催となりましたが、SBメンバー全員で協力し、スムーズに運営できました。動画作成では、主にSB内で行われている研究について説明し、SBメンバーの増員を図っています。動画は学部3年生を対象に講義で視聴していただいています。学外での活動が厳しい現状ですが、今後もできる範囲でSB活動を活性化していきたいと考えています。

## R3年度活動計画

- 9月：第29回 電子情報通信学会学生会講演会にて論文発表
- 9月：(第74回) 電気・情報関係学会九州支部連合大会にて論文発表
- 12月：令和3年度電気学会九州支部沖縄支所講演会にて運営支援および論文発表
- 2月：講演会の開催



# 宮崎大学学生ランチ

## 設立趣旨

学生会員同士の情報交換会の開催や、卒業生等を招き講演会を行っていただくことで、電子情報通信分野の知識や情報の習得を行える場をつくる。

メンバー数:31名 (B4:12名 M1:10名 M2:9名)

## 昨年度の活動

### 技術講演会「車載パワーデバイスの原理と開発動向」

「ラピスセミコンダクタ宮崎(株)」より加藤様による「車載パワーデバイスの原理と開発動向」と題した講演を行っていただいた。  
近年、自動車の電動化が急速に進んでおり、それに伴って車載用パワーデバイスも成長を余儀なくされている。そんな車載用パワーデバイスの特徴や成長の過程をご説明頂いた。普段、大学では学ぶことができない実用的なデバイスの紹介は知識の幅を広げるよい機会となった。

## 本年度の活動

### ①他大学との研究会

他大学の教授、学生と意見交換を行い、知見を深める。また、技術者としてのコミュニケーション能力を養う。さらに、各大学の教授による講演を拝聴し、様々な分野の研究に触れる。



2019年9月18日~19日 LSI設計における高度教育研究会

### ②学生間の勉強会

コロナウイルスの影響で研究のスタートが遅れてしまった学士が、修士に質問できる時間を設けた。修士にも基本を振り返る良い機会となった。また、学生間の距離を縮めることができた。



### ③工場見学

半導体製造を手掛けていらっしゃる「ラピスセミコンダクタ宮崎(株)」様の工場を見学させていただき、自分達が設計した回路がどのように製造されているのかを知る機会を設ける。回路設計だけでなくその製造プロセスを理解することで技術者としての知識を深める。



# 佐賀大学学生ブランチ2021



## 設立目的

学生相互の交流による学生活動の活性化

会長:上瀧修一郎  
副会長:田中達也

## 今年度の活動内容

### ・基礎復習ゼミ(4~7月)

今年から配属された学部生のために、基礎復習や研究で使用する解析ソフトの使用方法を教えるゼミを開催しました。

### ・学生会講演会実行委員会

本年度の学生会講演会は佐賀大学が会場となっているため実行委員会を開催し、各々の役割の決定を行うなどスムーズな開催に向け準備を行いました。

## 今後の予定

### ・研究室内の発表練習

学会発表や大学内での中間、卒論発表に向け発表練習を行うことで、個々の発表内容の質を高めます。

### ・研究室OBによる講演(未定)

本研究室では、毎年研究室OBの方をお招きして会社説明や、学生時代のお話などをしていただいています。昨年は開催できませんでしたが、本年度はWebでの開催を行えたらと考えています。

# 2021年度 FIT Student Branch 活動報告

三樹 健士郎, 住吉 竜弥, 三輪田 昌広, 西井 大輔, 多田 善樹, 内村 将太,  
恒吉 光輝, 松尾 和馬, 東 慎冴也, 外山 丁士, 徳富 洸季  
顧問: 中嶋 徳正

## FIT Student Branchの概要

FIT Student branch(FIT SB)は、学生11名、顧問1名から構成されており、学生が主体となって活動しています。昨年度のポスター発表後、および今年度の主な活動は以下のようになっています。

### □ 学会発表練習会

国際学会、国内学会に参加する学生を対象とした発表練習会を実施しています。

### □ 学部生・大学院生・教員交流会

卒業研究の研究室配属を控えた学部3年生を対象とした交流会を実施しています。

### □ OB講演会

FIT-SB会員の知見を広げるためにOBを招いた講演会を実施しています。

## 学会発表練習会

FIT-SBでは、国際学会や国内学会に参加する学生が自信をもって発表へ挑めるようにサポートを行う発表練習会を行っています。本年度も、COVID-19の影響を考え、昨年と同様にZoomを用いた発表練習会を行いました。



## 学部生・大学院生・教員交流会

2019年秋に100人近い人数が集まりBBQをしながらの交流会を行いました。



## OB講演会

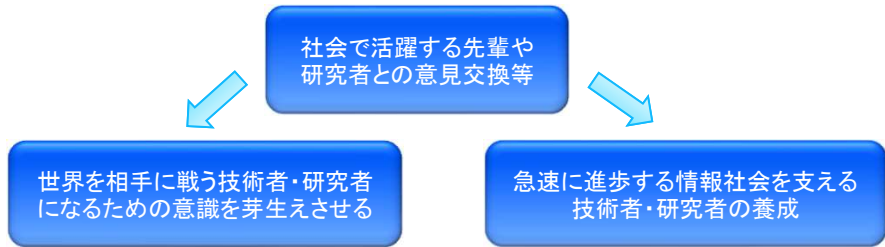
2020年冬に会員の知見を広げるためにOBを招いた講演会を実施しました。講演では、学生時代に学んだことで、会社で役に立ったことについて講演していただきました。2019年は実際にお越しいただきましたが、COVID-19の影響を考え、オンラインで開催をしました。

### ～まとめ～

FIT-SBでは学生を対象とした学会の発表練習などを学生員が主体となり計画し、取り組んでいます。また、OBを招き講演してもらうことで新たな知識を取り入れ、研究の活発化に貢献しています。今後は、勉強会なども開いていき、研究のサポートなどを考えています。

**名称** 大分大学Student Branch  
**設立** 2008年4月1日

## 設立目的



## メンバー

会長 中野 亨輝(知能情報システム工学コース)  
 副会長 柳本 崇(電気電子工学コース)  
 会計 樋口 瑞起(知能情報システム工学コース)  
 計 18人  
 顧問 中島 誠 教授(知能情報システム工学コース)

## 特徴

メンバーは電気電子工学または知能情報システム工学を専攻する学生で構成



## 前年の活動



### 2020年度

Raspberry Piとセンサを用いた屋内での換気促進システムの開発を目的に活動した。二酸化炭素濃度、湿度、温度が検出できるセンサを導入し、換気が必要な屋内環境である場合と屋内に人がいることを検出した場合に音声で注意喚起を行う。得られた検出結果を指定時間ごとにログに蓄積した。

## 2021年度今後の活動予定

- 2020年度から開発しているRaspberry Piとセンサを用いた屋内での換気促進システムを完成させる。
- 学科の異なるBranchのメンバー間の連携を高めるために、意見交流会を開催する。
- 異なる学科の分野の知識を深め、知見を広げるために研究報告会、研究室見学会を開催する。
- 電気電子工学または知能情報システム工学の分野で活躍する卒業生や専門家を招聘して、オンライン講演会を実施する。
- お互いの分野を深く理解した上で、それぞれの分野を活かせる共同プロジェクトの設立に向けて企画会議を開催する。

# 長崎大学学生ランチ

代表: 中村賢太 副代表: 小林雅幸 会計: 吉儀海



## ●活動目的

電子情報通信工学を学ぶ大学院修士課程及び学部生が集い、以下の目的で活動しています。

- 専門分野に関する講演会の企画及び開催
- 学生同士の交流を通じて知識の習得
- 工学技術者としての意識向上

## ●活動内容

### 主なタイムスケジュール

#### 7月・・・オープンキャンパス

- ・高校生向けに研究内容の紹介

#### 9月・・・研究報告会

- ・研究室の繋がりを深めることで、他分野の知識を共有し、互いに幅広い分野を学ぶ。

#### 11月・・・就職活動に関する座談会

- ・就職活動に関する意識の向上

#### 1,2月・・・就職活動サポート

- ・ES対策、模擬面接

#### 12月・・・企業やOBの方による講演会

- ・卒業された先輩方を招へいし、将来を担うエンジニアとしての意識の向上や各業界・技術動向や実際の企業での業務内容、また学生時代の就職活動において取り組んだことなどの講演をして頂く。

昨年はオンラインでの実施



OB講演会

## ●今後の活動

- 本学卒業生や関係分野で活躍する専門家を招へいして、講演会を実施。
- 長崎大学学生ランチ全体での交流を今以上に活発に行い、学会活動の意義・必要性を再確認してもらうことで、長崎大学学生ランチ活動の拡大を図る。
- コロナ渦ではあるが、オンライン等を利用し、できる範囲での活動を行う。

## 福大ブランチ

### 設立目的

- メンバーの技術の向上
- メンバー間の知識の共有
- 社会人との交流

### メンバー

会長:黒野 明日希  
副会長:和田 拓也  
他会員:10人

### 今年度の活動

- ~~オープンキャンパス デモ展示(R3.8.8)~~
    - ~~高校生や研究室配属前の大学生に向けて、デモを展示~~
  - ~~福岡大学市民カレッジ(R3.8)~~
    - ~~「キッズコンピュータ(小学生向けコンピュータ入門)」のお手伝い~~
- **新型コロナウイルスの流行のため、全て中止!**

### 一昨年度の活動の様子



### 今後の活動計画

- 学科OB技術者によるオンライン講演会
- 自宅で出来るマイコン学習(Raspberry Pi4)
- " ドローン、ARゴーグルプログラミング

## ・活動目的

電子情報通信工学を学ぶ大学院生及び学部生が研究分野の枠を超えて集い、九州支部学生会講演会の運営、卒業生や専門技術者による講演会の企画と開催、定期的な研究発表会の開催などを通じて学生同士の交流や個々の学生のスキル向上を図り、支部学生会活動の活性化を図る。

## ・事業内容

定期的な学生発表会を開き、学生間の意見交換を通じて各々の学会発表等に活かす

熊本大学大学院修了生や学部卒業生、また専門家を招いて講演会を開き、専門分野に関するトピックスを学び、研究及び就職活動の発展とする



右図は2019年11月2日の学園祭での、小中学生にラジオ製作（昨年はコロナで開催できなかった）

## ・構成メンバー

会長：高原悠希 副会長：福田貴大  
会計：高比良漢





# 鹿児島大学

## Student Branch

### 構成メンバー

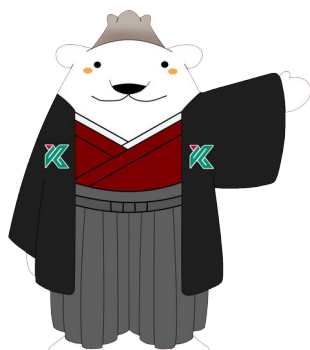
会長：小倉 弘平 副会長：西 結人 会計：有村 和也 全会員 15名  
顧問：重井 徳貴、塗木 淳夫

### 活動目的

- 定期報告会や学外発表などを通じて、学生同士の交流を図ったり、知識やコミュニケーション能力など、工学技術者に必要なスキルの向上を図る。
- 研究室OBをはじめとする社会人の方を招き、社会人としての心得や学生の間にしておくべきことなどのアドバイスをもらい、今後の学生生活にフィードバックする。

### 活動内容

- ▶ 定期報告会において、研究の進捗報告を行い意見を交わすことで知識やスキルの向上を図る。
- ▶ 重井研究室のOBの方々を招き、交流することで社会人の心得について学ぶ。



鹿児島大学公式マスコットキャラクター

きつん

### OB講演会

現在、関東圏で勤務されている重井研究室のOB二人を招いて、オンライン講演会を開催しました。講演会を通して、業務内容や社会人として大切なこと、学生生活のアドバイスなどの新社会人生活や学生生活、就職活動で非常に参考となるお話をしていただきました。

就活生・新社会人に向けて

- 仕事のやりがい  
・自分の成長を感じる（できなかったことができるようになったり...）
- 社会人になって感じたこと  
・自己解決力の重要性  
・英語が身につけておくと強みになる  
・海外研修、海外出張が快適！
- 学生に向けて  
・いざという時に興味をもつ  
・多くの人の助けを大切に！  
・卒業を寂しくないこと

就活生・新社会人に向けて

- 就職活動で大切なこと  
・自己解決力の重要性  
・英語が身につけておくと強みになる  
・海外研修、海外出張が快適！
- 学生に向けて  
・いざという時に興味をもつ  
・多くの人の助けを大切に！  
・卒業を寂しくないこと

### 今後の予定

- 定期報告会や学会発表を通じた知識やスキルの向上
- 研究室OBなど社会人の方を招いた講演会の実施
- 就職活動のサポート



# Sojo University Student Branch

会長：長嶺和紀      副会長：川添俊哉      会計：林真未  
 二渡卓磨      濱池佑哉      北山佳      徳丸恵大      児玉大樹      後藤領太      齋藤遼河  
 首藤立樹      林田幸之助      松永亮悟      柳大海      岡部隼司      高森悠平      福原大陽  
 村上侑暉      茂谷逸聖      伊藤道信      城戸一護      大平青空      濱武右京      植田星矢

## 団体紹介

### 活動目的

- ① 電子情報通信の専門知識の習得、またその応用・実践
- ② 主体性や問題解決力を養うこと
- ③ 技術者との交流を行っていくこと

### 今年度の構成

顧問：筒口先生    山路先生    星合先生  
 会員：24人      四年生    4人  
                   三年生    10人  
                   二年生    5人  
                   一年生    5人

## 活動内容

### 年間の活動の流れ

1. 4～7月 C言語勉強会
2. 7～9月 Unity勉強会    Web勉強会    Arduino勉強会
3. 9～11月 学園祭に向けた作品の制作
4. 11月      学園祭で作品の展示

### 上記以外の活動

- ・講演会
- ・競技プログラミング
- ・Go To IT イベント
- ・遠隔での学生間の交流会(雑談、相談、ゲームなど)

## 勉強会

主にランチに所属している3年生、4年生が下級生に向けて開催  
 基本的には週に1回、講義で使用した教科書や資料、webサイトを参考に、  
 C言語やUnityを教えている  
 現在は「Discord」を用いてオンラインで開催



▲Discordでの勉強会の様子



▲対面での勉強会の様子

## 講演会

年に2回ほど、外部の技術者の方やOBの方を講師にお呼びした講演会を開催

内容は講師の方の研究や取り組みについて、学生へのアドバイス、講師の方の体験談など

講演会の計画や講師の方との相談などの運営は学生ランチ所属の学生が中心



▲藤本賢志氏による講演会「私のキャリア選択～生きていけばそれでいい～」の様子

## Go To ITイベント

外部のIT系のイベントに参加する学生に交通費・宿泊費などの費用を補助する支援活動

費用を理由に外部のイベントに参加できない学生を減らし、様々な経験を促す目的

他大学の学生や現役のエンジニアの人と交流することで、沢山の刺激を受けて成長を目指すという趣旨で行っている



## 競技プログラミング

外部の競技プログラミングサイト、Atcoderのコンテストに参加することで、プログラミング能力の向上を図る

コンテストに参加後、LINEやDiscordにて結果の共有や、問題を解けた学生が解説を行うなどオンライン上でも連携して取り組むようにしている



## 学園祭での作品展示

11月に行われる崇城大学の学園祭に向けて、個人もしくはグループでゲームやハード系の作品を制作する

学園祭では来場者が体験できる形で展示を行う



▲学園祭の様子(コロナ前)



▲制作されたゲームの例



▲センサを用いた電子楽器

## 交流会

コロナ禍でオンライン活動が主となっているため、会員同士で交流する機会を月に一回ほど設けている

内容は雑談、学生生活などの相談やネット上で出来るゲームなどを行っている



▲Discord上での交流会の画面

## □ 設立目的

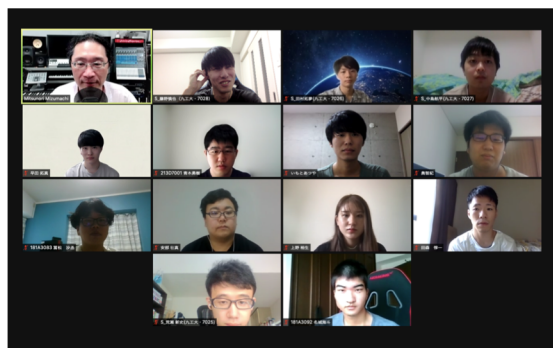
九州工業大学では、電気電子工学に興味のある大学院生・学部生が集い、先輩研究者や技術者と意見を交換し、交流を深めることを目的に学生ブランチを設立しました。

## □ メンバー

学生代表：藤野 慎也，顧問：水町 光徳，他：12名

## □ 今年度の活動

大学院生から学部4年生へのMATLAB講座（オンライン）



zoomでの様子

MATLABとは

- 数値解析ソフトでありその中で使うプログラミング言語
- 数値線形代数、関数とデータの可視化、アルゴリズム開発、グラフィカルインターフェイスや、他言語(C言語/C++/Java/Python)とのインターフェイスの機能を有している
- 標準で数多くのライブラリを有しているが、それ以上のデータ解析や統計、アプリケーション展開などが必要な場合にはToolboxと呼ばれる拡張パッケージをインストールすることで、MATLABの機能拡張を図ることができる

MATLAB解説資料

昨年度よりもオンラインに慣れたことでコミュニケーションを取り、理解度を確認しながら進めることができた。

## □ 今後の活動予定

- ①OB/OGによる講演会
- ②学外研究者による講演会